



大学共同利用機関法人
人間文化研究機構



大学共同利用機関法人 人間文化研究機構
国立歴史民俗博物館
National Museum of Japanese History

令和7年11月28日

人間文化研究機構国立歴史民俗博物館長の選出について

大学共同利用機関法人人間文化研究機構では、国立歴史民俗博物館長 西谷 大氏の任期が令和8年3月31日で満了することに伴い、選考を行った結果、現館長 西谷 大（にしたに まさる）氏を再任することとしましたのでお知らせします。

なお、西谷館長は再任のため、機構長が令和8年4月1日付けで発令し、任期は2年となります。

〔解禁：令和7年11月28日（金）14時00分〕

<問い合わせ先>

大学共同利用機関法人人間文化研究機構

事務局総務課長 石井 伸 宜

直通電話 03(6402)9209

国立歴史民俗博物館

管理部総務課長 渡 邊 孝

直通電話 043(486)4203(内線 204)

略 歴

にしに　　まさる
西　　谷　　大
昭和34年5月23日生

昭和59年	3月	熊本大学文学部 卒業
昭和61年	3月	熊本大学大学院文学研究科博士前期課程 修了（文学修士）
昭和62年	8月	中華人民共和国天津師範大学普通進修生 修了
平成元年	3月	中華人民共和国中山大学人類学系高級進修生 修了
平成20年	3月	博士（文学）総合研究大学院大学
平成元年	4月	国立歴史民俗博物館考古研究部助手
平成16年	2月	国立歴史民俗博物館考古研究部助教授
平成16年	4月	人間文化研究機構国立歴史民俗博物館研究部助教授 （平成19年4月から准教授に配置換）
平成20年	4月	総合研究大学院大学文化科学研究科准教授（併任）
平成24年11月		人間文化研究機構国立歴史民俗博物館研究部教授 （令和2年3月まで）
平成24年11月		総合研究大学院大学担当教授（任命） （現在に至る）
平成25年	4月	人間文化研究機構国立歴史民俗博物館博物館資源センター長 （併任）（平成28年3月まで）
平成29年	4月	人間文化研究機構国立歴史民俗博物館副館長（併任） （令和2年3月まで）
令和2年	4月	人間文化研究機構国立歴史民俗博物館長（任期4年） （令和6年4月から再任2年、現在に至る）

※専門分野

考古学

（主要研究課題：東アジア人類史、東アジアの生業の歴史的変遷、焼畑、水田、マーケット）

※主な研究業績

- ・平成11年 「墓と貨幣－古代中国の死後の世界」『講座 人間と環境 第9巻』pp. 226-249（分担執筆・総合討論）昭和堂
- ・平成13年 「豚便所－飼養形態からみた豚文化の特質」『国立歴史民俗博物館研究報告第90集』pp. 79-149（単著）国立歴史民俗博物館
- ・平成15年、『食べ物と自然の秘密』（単著）小峰書店
- ・平成16年 「史書にみるリー族の生活世界」「環境利用の変容と生活適応戦略」『中国・海南島 焼畑農耕の終焉（島の生活世界と開発2）』pp. 21-35, 55-96（分担執筆）東京大学出版会

- ・平成21年 「中国ブタ便所からみた弥生文化の家畜飼育」 『食料の獲得と生産（弥生時代の考古学5）』 pp. 132-142（分担執筆）同成社
- ・平成22年 「海南省初保谷と雲南省者米谷の棚田」 『人と水Ⅱ 水と生活』 pp. 269-308（分担執筆）勉誠出版
- ・平成23年 『多民族の住む谷間の民族誌 生業と市からみた環境利用と市場メカニズムの生起』（単著）角川学芸出版
- ・平成28年 『ニセモノ図鑑 贋造と模倣から見た文化史』（編著）河出書房新社
- ・平成29年 『写真紀行 雲のうえの千枚ダム 中国雲南・大棚田地帯』（単著）社会評論社
- ・平成29年 「本論集の趣旨」「総合資料学の未来を考える」 『総合資料学の挑戦 異分野融合研究の最前線』 pp. 1-6, 161-177（分担執筆）吉川弘文館
- ・平成31年 『二五穴』（歴博研究映像 DVD監督）国立歴史民俗博物館
- ・令和4年 『日本の歴史 講談社の動く図鑑MOVE』（総監修）講談社

※受賞歴
なし